

べっぴん 市議会だより

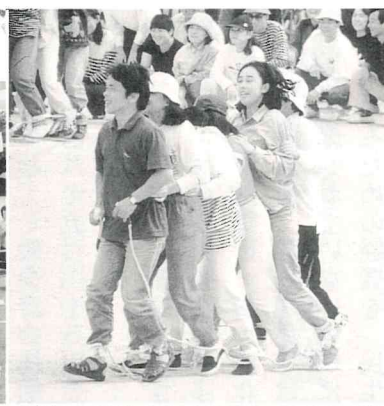
No.26 平成8年11月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

〒874 別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111



別府市行政手続条例の制定についてなど可決

9月定例会は、9月10日から25日までの16日間の日程で開かれました。

一般会計補正予算をはじめ、別府市手数料条例の一部改正についてなど14件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決、認定、承認されました。

また、平成7年度水道事業会計決算の認定については原案のとおり認定され、7年度一般会計・各特別会計の決算認定案件は、閉会中も引き続き継続して審査することに決まりました。

議員から、在沖縄米軍基地の整理縮小の促進及び日出生台移転等に関する意見書案など3件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

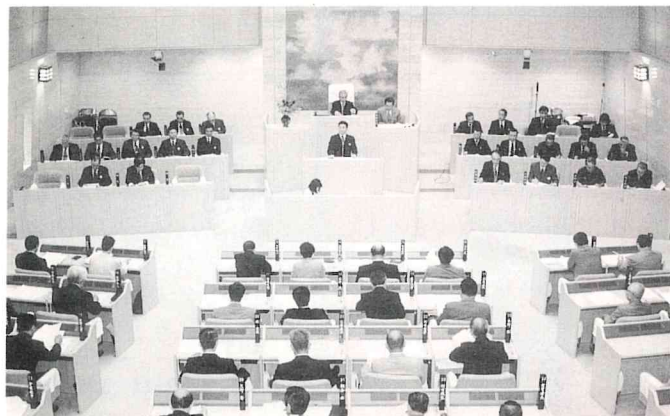
主な内容

主な議決……P 2～3

議案質疑……P 4

一般質問……P 5～7

その他……P 8



9月定例議会風景

主 議 な 決

決算特別委員会を設置

九月定例会では、予算や条例案件など十三件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会に付託されました。

これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の結果について報告がなされ、表決の結果、すべて原案のとおり可決、認定、承認されました。

主な議決内容は次のとおりです。

補正予算

◎平成八年度一般会計補正予算
(第二号) (原案可決)

今回の補正額は、十六億八百七十万円を追加し、一般会計の総額は三百八十四億八千五百二十万円となりました。

主な事業内容は、緊急を要するものとして、病原性大腸菌O・157に関する予防対策の一層の強化を図るための経費を、総務関係では住居表示が実施されていない地域に町名を表示するための経費を、民生関係



「O-157」関連の予防対策費を計上

では、高齢者の方々の福祉の充実を図るためのデイサービスや、ひとり暮らしの高齢者の方々の緊急時における通報手段として、緊急通信システムに関する経費を、衛生関係では指定ごみ袋の導入に向けての経費を、農林水産業関係では、生産農家に対する野菜産地拡充強化緊急対策の経費を、土木関係では、北浜地区を中心に、自動車の走行を抑制し、歩行者が安心して歩ける空間を創造するための北浜地区コミュニティ・ゾーン形成に要する経費を、教育関係では、中央公民館・市民会館の冷暖房設備及び舞台関連設備の改修に係る経費を、そして、災害復旧

九月定例会 期の経過

- 六日 議会運営委員会
十日 本会議
(議案上程、提案理由の説明)
- 十二日 本会議
(議案質疑、委員会付託)
- 十三日 本会議 (一般質問)
- 十七日 本会議 (一般質問)
議会運営委員会
- 十八日 本会議 (一般質問)
決算特別委員会
議会報編集委員会
- 十九日 各常任委員会
二十五日 議会運営委員会
本会議
(上程中の全議案に対する各委員長報告、討論、表決)

関係として、六月の集中豪雨に伴う災害復旧工事などに支出しようとするものです。

◎平成八年度各特別会計(国保事業競輪事業、国民宿舎事業、公共下水道事業、)補正予算 (原案可決)

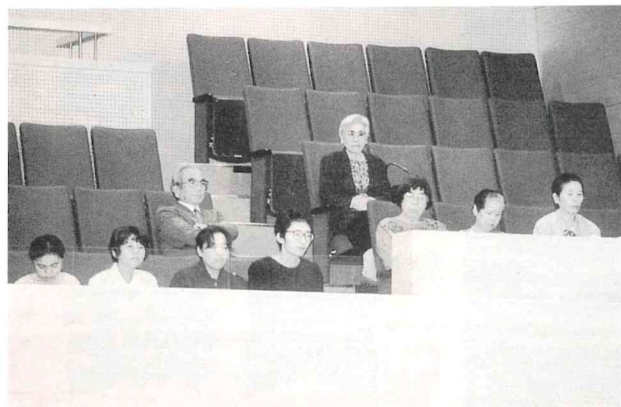
国の補助事業により、国民健康保健事業では、国民健康保健税の適正賦課、収納率の向上及び医療費適正

化特別対策事業などに支出しようとするものです。

条例

◎別府市行政手続条例の制定について
(原案可決)

行政手続法第三八条の規定に基づき、処分、行政指導、及び届出に関する手続きに関し、共通する事項を定めることによつて、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図ることににより、市民の権利利益の保護を目的として条例を制定しようとするものです。



市議会を傍聴してみませんか

条例の一部改正

◎別府市手数料条例の一部改正について
(原案可決)

国の基準の改正に伴い、ホームページサービス事務に関する手数料の条例を整備しようとするものです。

その他

◎建設工事委託協定の締結について
(原案可決)

別府市中央浄化センター等の建設工事委託協定の締結にあたり、議会の議決を求めるものです。

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて
◎市有地の売却について
(原案可決)

県が施行する国道五〇〇号線の特種改良一種工事(拡幅)に伴い旧慣による公有財産についての権利を廃止し、市有地を売却しようとするものです。

(原案可決)

財団法人別府商業観光開発公社(コスモピア)に対して別府商業観

光開発ビルの敷地として、土地を貸し付けるにあたり、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

◎市長専決処分について
(原案承認)

国の法令や政令などの一部改正に伴い国民健康保険税の減額の適用範囲を拡充するため市長により専決処分したものです。

決算

◎平成七年度別府市水道事業会計決算の認定について
(認定)

地方公営企業法に基づき、監査委員の意見を付けて決算の認定をしようとするものです。

◎平成七年度別府市一般会計及び特別会計決算の認定について
(継続審査)

九月十八日決算特別委員会が設置され、決算の認定について閉会中も継続して審査しようとするものです。

(◎委員長 ○副委員長)

◎江藤 勝彦 ○高橋美智子

加藤久美子 後藤 健介

山本 一成 井田 逸朗

永井 正 佐藤 岩男

岩男 三男 内田 有彦

本田 行男

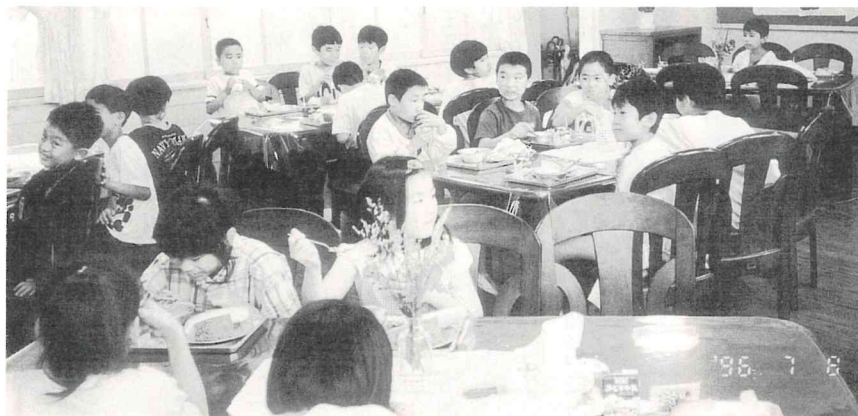
傍聴のご案内

◆本会議はどなたでも傍聴できます。

◆お気軽に議会棟4階へお越し下さい。

◆次の定例会は12月上旬に予定しております。





毎日楽しみ クラスのみんなと 語らいの学校給食

議案 質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

九月十二日に九名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑について掲載します。

「病原性大腸菌O・157」の 関連予算について

市の予防対策は

問 「病原性大腸菌O・157」に要する補正予算について、その内容説明を願いたい。

答 観光都市別府として緊急を要するため、既決予算で発注・対応したものもあり、福祉・教育施設などの設備改善・予防対策費として総額千八百五万五千円を計上した。

問 観光都市別府を守る立場で、また、子供の命、市民の命を守る立場から、O・157に対する市の素早い対応については評価いたしたい。今日までの市の対応について具体的

な説明を……。

答 O・157の予防対策として緊急庁議を開き、各担当部課長が一体化となるため、現場主義の徹底を図り、各施設の実態を把握し報告、連絡、相談を密にするという徹底を図った。また、県や保健所との連携を強め、宿泊施設、飲食業などの団体に対し食中毒防止の周知徹底を図るための監督指導を万全にし、市民には市報やチラシなどにより正しい知識の普及啓発を行った。今後も、市と関係機関が緊密な連絡を取りながら、市民への的確な情報と予防対策についての啓発に努めてまいりたい。

問 学校現場における対応は……。

答 O・157は学校給食が原因だとして発生したことを、非常事態として受けとめ、児童生徒の生命を守り、保護者を通じて市民が不安を抱

かないようにすることを基本に、各学校、社会施設に通知・指示するとともに、従事員に対して講習や研修を行った。同時に、各学校、学校共同調理場などの実態調査を行い、緊急を要するため、既決予算で機材などの購入を発注し、職員の検便も定期的に実施するようにした。今後とも、様々な食中毒には十分注意をし食材の購入から手洗いの励行、輸送における管理監督、食器類の消毒までの綿密なる連携を取り、行政と現場が一体となり予防対策に努めていきたい。

問 保育所などの対応は……。

答 公立、民間保育所などに対し注意文書や、保健所と連携を取り所長や調理員に対し研修指導を実施してきた。機材などについても教育現場と同様の対応を実施した。

食中毒防止の3つの原則

食中毒を防止するには、日頃の衛生管理が重要！

特に、食中毒三原則「清潔・迅速・加熱または冷却」を常に念頭におくことが重要です。

(「STOP THE食中毒」より)

清潔



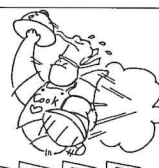
食物に細菌をつけないように清潔に!!



迅速



細菌が増える時間をあたえない。



作ってから食べるまで時間をかけないように

加熱



加熱により細菌を殺す

65℃以上

冷却



低温で保管し細菌をふやさない

5℃以下

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。九月十三日から十八日までのうち三日間、十八名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次の通りです。

堀本 博行 加藤久美子
田中 祐二 高橋美智子
後藤 健介 佐藤 博章
井田 逸朗 富田 公人
永井 正 小林健一郎
中村 正三 河野 数則
岩男 三男 原 克実
内田 有彦 本田 行男
白石 昇 伊藤 敏幸
(議席順)

公的介護保険は 国民理解が優先

問 厚生省の調査では、介護を要する高齢者は現在約二〇〇万人。二〇二五年には五二〇万人と推計。従って、公的介護保険制度の創設は国民的要望として緊急を要している。しかし、まずは国民の理解を求めることが最優先。拙速な公的介護保険制度の導入であってはならない。

答 この制度は極めて重要。しかし、この制度に対する国民の理解は十分得られておらず啓発活動が大事。全国市長会等でも慎重を期するべきであると国へ強く要望している。

扇山ゴルフ場周辺に 地ビール工場を

問 観光都市別府に地ビールの誘致を提唱したい。市議会の各会派からも殆ど賛同を得ており、今後、「別府地ビールを誘致する議員連盟」を発足したい。誘致場所としては本年十一月に、扇山ゴルフ場に新クラブハウスが完成し、温泉もある環境の良いこの周辺が一番よく、観光客誘致につながる。運営は第三セクター方式がいい。

答 民活による誘致は大変結構な話だが、扇山ゴルフ場との関係や環境庁の許可等クリアすべき課題がある。

志高湖総合開発 動き出す

問 ワールドカップ 大分県誘致
答 全面的に誘致に協力していく。
問 志高湖の総合開発について
答 基本計画を策定し、自然を活かし、別府の核になる観光施設を作る。
問 姉妹都市への留学制度について
答 中国、ニュージーランド、英国に五十九名の生徒達が国際社会へ一歩を踏み出し、来年は、韓国の木浦市と生徒の交流を推進する。
問 秋葉通り、拡幅計画について
答 現計画では、平成十五年完成予定を目標としており、ビーコンのアクセス通りとして施工。



アジアの留学生から見た別府の印象は

ポリオ予防接種を 別府市でも

問 ポリオ予防接種は、アメリカ留学に必要であるのに、別府市民は、熊本や福岡に行かなければ出来ない。大分市民は、赤十字病院に大分市が委託契約で実施している。別府でも実施してほしいとの声強いが、取り組みは……。

答 本年六月に要望を受け、大分市等調査し、医師会と協議してきたポリオワクチンは、別府市保健衛生課に保管しているので、後は医師会で担当医の決定をしていただければ来年からの実現は可能である。

行財政改革答申と 給与銀行振込

問 学識経験者、税理士、市政モニターや主婦の代表による行革推進審議会答申について今後の対応は。

答 市長を本部長とする全庁体制による行革推進本部を設置し、大綱を十月末までに策定する。

問 大分市や他市で職員への給与は銀行振込を実施している。この程度の合理化が出来なければ行政は今後何の行革も実現しないと思うが。

答 職員団体の理解を得るべく条件整備をして、早急に解決を図りたい。

亀川のまちづくりについて

問 大学の進出に伴い、亀川の住民は期待と不安を抱えており、行政として福祉・学園も含めた総合的なまちづくり構想は当然必要となってくるが、亀川郵便局の移転後の跡地も含めて周辺に空き地も多々あるので用地買収も考慮し早急に検討委員会を設置するなどしてまちづくりに努めていただきたい。

答 大学の誘致も決定したので、亀川地区のやさしいまちづくりのためにも関係者の皆様とも相談し鋭意努力していきたい。

別府温泉ファンクラブの創設を

問 兵庫県豊岡市では、財団法人但馬ふるさと協会が、会員に様々な特典がある「但馬ファンクラブ」をつくり、地域の観光浮場に貢献している。別府市でも「別府温泉ファンクラブ」の創設を検討したらどうか。

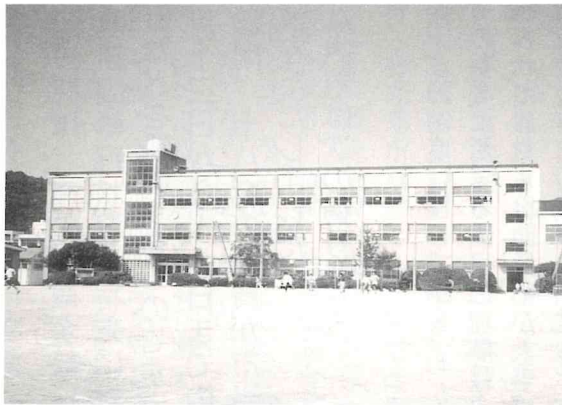
答 官民一体となった企画で、情報の発信として見做う点がある。別府市には、観光関係団体の参画で発足したばかりの別府観光促進審議会があるので、この中で議題として提案して参りたい。

亀川小学校改造と東山校建設計画について

問 亀川小学校の大規模改造時には亀川地区のまちづくり事業と併せて障害児・者に配慮した改造を行ってほしい。

答 亀川地区のまちづくり計画は道路など他市よりもよくやっている。学校については手すりやスロープなど現場の声を聞いて配慮していく。

問 東山小中学校建設計画について
答 平成十年度開校に向けて条件整備をしている。また、学校建設計画については、地域住民も利用できる近代的なモデル校を目指していきたい。



大規模改造対象の亀川小学校校舎

ゴミ環境 フロンガス問題対策

問 来年四月施行の容器包装リサイクル法の目的と立案に至る経緯についてどのように理解をしているか。同法を踏まえた別府市の分別収集計画、フロンガス対策はどうか。

答 資源の再利用及び環境保護の見地から同法が立法された。同法の目的を分別収集計画にもりこみたい。ゴミ懇談会には現業職員も参加するようにしたい。

答 フロンガス問題は地球環境上重要である。大分県フロン回収推進協議会には、家電業界も加入しており会を通じて指導して行きたい。

リサーチヒルへの 進出見通しは

問 市北部の内竈地区にソフトウエア産業集積基地「リサーチヒル」の造成工事がようやく完了したが、平成三年に進出表明した二社のその後の見通しはどうか。また、市と企業側の坪当たり単価について説明せよ。

答 企業側との進出協定までは至っていないが、現在企業側と進出に向けて鋭意交渉を重ねている。売却価格については、企業側の希望と若干の差があるが話し合いをしている。



企業の進出が待たれるリサーチヒル

今後、企業進出が成功するよう最大の努力をしてみたい。 毎日二食老人給食 が実現・全市へ

問 自宅で暮らしたい老人にとって本年四月からの毎日の給食配達実現は本当に嬉しい事です。ただ、全市域まで配達体制がとれていないため困っている老人もいます。市が親身になり、一日も早く届けられる体制にして下さい。市の行財政改革について、街灯を町内会負担にせず、又エイズが心配される公園の砂の消毒等福祉・教育に力を入れる様に。
答 老人給食は、本年一ヶ所が実施しており、よく相談にのりたい。公園の砂は取替えの回数を検討したい。

清掃行政について

問 七月の炎天下、半日ゴミ収集車に乗車、その実態を経験したが清掃業務にたずさわる職員の苦労に敬意を表したい。健康管理、待遇改善について十分に配慮すべきではないか。又、臨時職員の賃金についても一般の臨時職員とは差をつけても良いのではないか。

答 臨時職員賃金改訂時に、改善に向けて、充分検討したい。

問 「老人保健福祉計画」実施三年目を迎えるがその進捗状況はどうか。

答 計画通り進展している。

立命館アジア太平洋大学 誘致について

問 立命館アジア太平洋大学(仮称)誘致で、他の事業にどのような影響が出てくるのか。大学側に提供する用地の鑑定評価はしたのか。

答 市の財政負担額は、最終的には決まっていないが、財源については財政調整基金などの基金の取り崩しと県からの有利な資金を考えております。又基金の取り崩しでは直接的には影響はないと思う。県からの資金の返済は毎年一般財源を充てる。用地の鑑定評価は、大学側に提供す

る面積、位置が確定した後実施する。

米軍日出生台移転に 態度表明を

問 市長は六月議会で私の質問に国の専管事項で別府市外の事と述べて答弁を保留した。しかし、今議会冒頭の本会議で「在沖繩米軍基地の整理縮小の促進及び日出生台移転等に関する意見書」を全会一致で可決した。マスコミは移転反対の意見書採択と報道したが、市長はこの意見書をどう受けとめているのか。

答 「米軍の実弾演習場を一方的判断で日出生台へ移転しないよう政府の適切な措置を強く要望する」を理解し議会の総意として尊重する。

情報公開制度導入は 平成十年度に

問 「情報は民主主義の通貨である」とは米国の消費者運動家のラルフ・ナイダー氏の言。私たちの生命や健康生活、環境を守る為に、知る権利を保障し、市民の行政参加を促す、情報公開制度の導入を検討されているのか。

答 時代の流れである。現在庁内で事務レベルで協議しており、平成十年度実施をめざしている。

問 三月議会後の女性委員登用は。

答 特別土地保有税審議会に一名とスポーツ振興審議会に二名登用した。

別府市交通災害 共済制度について

問 本市の交通災害共済事業は昭和四十三年にスタートしたが、本年七月の行政改革推進審議会の答申で加入率の減少等を原因に見直しが言われているが当局の考えはどうか。また、発足後二十数年を経過しておりPRの強化や見舞金の内容の充実等を図ってもらいたい。

答 加入率は三七・五二%のピーク時から七年度は一九・七七%に下がっている。行革審の答申を受けているので、内部でも十分検討し、見直しは慎重にしたい。



交通事故のない 安全な町を 私達の手で

市の防災体制の 整備について

問 昨年実施した県と合同の防災訓練の教訓を市防災体制にいかに関映させ改善したか。

答 県防災訓練の反省会を関係機関と実施した。その結果、最大の教訓は各種機関相互の無線連絡の不備であった。市防災無線体系整備のため本年度予算に調査費を計上した。その他、防災関係職員用の防災服を三百着整備した。また、自衛隊・警察・消防と定期的に連絡会議を持つようになっている。

総合福祉条例の 制定について

問 福祉社会は障害のある市民、高齢の市民を始めとするすべての市民が、一人の人間として尊重され、地域で学び、働き、豊かに生き生きと暮らしていける障壁のない社会でなければなりません。福祉計画も自治体に任せられるようになれば計画の裏付けとなる条例を制定しなければなりません。総合福祉条例の制定を求めます。

答 慎重な提言有難うございます。別府は福祉の町でもありますので、内部で十分討議をしてまいります。

全国各市から 行政視察に

四月から九月までに別府市議会を訪れた議員の視察研修は四十二市（二七九名）で、昨年度（同月比）より十一市増えています。このうち約七五%の視察団が別府市に宿泊しました。

地域別には、関東地方が最も多く次いで東北、中国地方からの各市となっています。

視察目的は、①駅前シンボルロード整備事業②リサイクルについて及び竹細工伝統産業会館③ビーコンプラザの順になっています。



別府竹細工伝統産業会館を見学する視察団

九州議員野球大会に 本年も出場

第三十二回九州市議会議員野球大会（二十七市参加）は佐世保市において八月一日から二日までの二日間に行われ、開催されました。

別府市議会は河野監督他二十名の選手が参加しました。

一回戦は北九州市議会を十九対七の大差で破り、この余勢で二回戦も多久市議会を十三対八で一蹴。しかし、三回戦は大分市議会と対戦し、白熱した好試合を展開しましたが、惜しくも八対十一で敗れました。



別府市議会チーム

在沖縄米軍基地の整理縮小の促進及び 日出生台移転等に関する意見書

米ソや東西両ドイツなど冷戦終結後の世界の軍事情勢が変化した現在、日本における新しい安全保障体制についての模索が開始されている。

このようなときに、日米安保条約との関連において、在日米軍基地の規模と機能、ひいてはその再編、整理、統合、縮小について、検討されねばならない極めて重要な時局を迎えている。

しかるに、今年11月の「沖縄に関する日米特別行動委員会（SACO）」の最終報告を前に、日本政府が8月29日の日米合同委員会で、沖縄米軍の実弾射撃演習場を日出生台など全国5ヶ所に移転することを決定したことは、地元自治体と地元住民の意向を無視した一方的なものであり、とりわけ日出生台は、阿蘇国立公園観光リゾート地域の一環を占め、別府市にとっても観光と自然保護の立場から、この決定は認めることはできない。

また、米軍は、沖縄をはじめ各地で事件・事故を起こしている。日本各地への基地分散で問題解決しようとすることは、逆に事件・事故の分散を進めることになり、基本的な問題解決にはなり得ない。

よって政府におかれては、沖縄県の振興開発の推進及び県民生活の安定を図る上で大きな制約となっている在沖縄米軍基地の整理縮小の促進と共に、米軍の実弾射撃演習場を一方的な判断で日出生台演習場へ移転しないよう、政府の適切な措置を強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

平成8年9月10日

別府市議会

内閣総理大臣 沖繩開発庁長官
外務大臣 防衛施設庁長官
防衛庁長官

殿

虚礼の廃止にご理解とご協力を

別府市議会では、虚礼廃止の趣旨から、議員による各種のあいさつ状をはじめ、寄付等の行為について、自粛する申し合わせをしています。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。